

文芸

Japanese Poem of 31syllables
*Haiku Poem*Comic Haiku*

俳句 (志布志左右句会)

南瓜ひとつぶらりとこの世に生残る 永山 又生
 秋野菜時きて寝る夜や雨となる 坪田 秀邑
 志布志湾に緑のほくる島ひとつ 吉田 十二
 生前葬蟬はコツンと往生す 暉峻 康瑞
 跳箱を跳んで夕日の中に消え 山本せつ子
 青葉の日出雲大社のすずれ石 東平 要一
 吾亦紅青空教室手が挙がる 肥後 洋子
 大鯛や買ってきたのか釣ったのか 岩根 長初
 秋の句の詠人を知らず朗詠す 吉村 公平
 鈴虫の詩語がこぼれる月あかり 藤後むつ子

俳句 (はつはな俳句会)

器に描くどくだみの葉のまくれなみ 春日 ふく
 鈴虫の音楽会にはいり込む 川畑 美行
 音立てて止まりたる蟬声持たず 本村 湧水
 稲刈りの終わる田んぼに蜻蛉群れ 熊谷 玉乃
 よく熟れた葡萄が袋よりのぞき 中野美智子
 優しいね西瓜を食べる人の顔 吉村 公香
 わが部屋を暗くして見る大火花 川畑 充子
 秋晴れや兄弟と行く旅を待つ 城之園よしえ
 今掃いて桜落葉のきりもなし 横山 良子
 ハンターとなりて空ゆく鬼やんま 本村多可子

短歌 (有明短歌会)

もちの木に番の鳩のもつれ合ひ諸蟬水を散らし飛び立つ
 真夏日の居間のテラスに寒冷紗涼風そよぐ風鈴の音
 平島艦七月二七日沈没す志布志の海へ花束届けと
 軒下に傘の雫を振り落とし後ろ手に引く扉の重し
 球児等の汗と涙の甲子園酷暑吹き飛ばす爽やか姿
 花の名は「もみじ葵」としてさされてハガキに咲いた絵手紙届く
 芋だんご田植えのあぜで小屋した蓑笠つけし青春の頃
 佳き日かな娘より届きし小包の隅にちよこんと黄色の財布
 ゆったりと深い呼吸に合わせ舞う白鶴の様に太極の華
 迎え火に御霊を乗せて亡き義弟と蟬しぐる中家路に向かう
 川沿いに合歓の花咲く一枝を手折り来たりて友に捧げる
 久しぶりの慰問嬉しく胸弾む有明中の合唱部員達
 皆集い玉音聞きし酷暑日の学徒動員過ごし日の事

畑山みつぎ 福元 忍
 徳田 将人 矢野 むつ
 野口 嵐 澤津川頼子
 萩 幸子 木下マキ子
 大原 繁 水上カズエ
 池迫 茂 石峰カズ子
 宮脇 ナチ

薩摩郷句 (志布志薩摩郷句会)

煩し蠅叩てたや大事な皿を割つ
 良か気分雨は違ご句を捻い出つ
 長ごメール来んけりや心配で娘い催促つ
 焼酎ん勢き威張つちやみたが醒めりや後悔
 狙るた青年せ見向つもされじ切つね恋
 子供達親な内緒で旅行ふ企画
 同窓会焼酎と馴染まん都会言葉
 家族中しつ 仲ん良かとお誇いしつ

福山 吉連 木藤 富美
 満留 ぐみ 新地 十意
 樋渡草団子 竹之内零余子
 伊地知 孝 野村 三味

～『志』・季・折・々～

市内の美しい風景や、歴史・文化を感じさせてくれるもの等を写真で紹介いたします。読者の皆様からの写真のご提供も、お待ちしております。

【今月の1枚:彼岸花に戯れるアゲハチョウ】